

# はだの下水道ビジョン(素案)修正箇所一覧

資料6

頁	項目	修正内容	修正後	修正前
2	2はだの下水道ビジョンの役割と位置づけ	文章修正	また、 <u>本市においても人口減少が進んでおり、高齢化やライフスタイルの変化などと合わせて、このままでは、使用料収入の減少による経営状況の悪化が見込まれます。</u>	また、高齢化やライフスタイルの変化などにより、本市においても人口減少が進んでおり、このままでは、使用料収入の減少による経営状況の悪化が見込まれます。
36	(3)施設の適正な運転管理の効率化	文言追加	処理場の運転管理や <b>電気・機械設備</b> の維持については、	処理場の運転管理や機械設備の維持については、
39	(3)施設の適正な運転管理の効率化 ア課題(ア)	文言追加	<b>電気・機械設備</b> の不具合等の	機械設備の不具合等の
39	(3)施設の適正な運転管理の効率化 ア課題(イ)	文言追加	各種 <b>電気・機械設備</b> の修繕等は、	各種機械の修繕等は、
39	(3)施設の適正な運転管理の効率化 ア課題(ウ)	文言追加	限られた人材の効率的活用や <b>人員の補完</b> 、コスト削減に向けて、	限られた人材の効率的活用や、コスト削減に向けて、
39	(3)施設の適正な運転管理の効率化 イ取組みの方向	文言追加	人材の効率的活用や <b>人員の補完</b> 、コスト削減が求められるため、	人材の効率的活用やコスト削減が求められるため、
44	(1)災害対策の充実 ア課題(イ)	文言追加	また、近年、発生が危惧される火山噴火による降灰を起因とした交通障害等への対応についても、 <b>ハザードマップ等を踏まえて</b> 検討する必要があります。	また、近年、発生が危惧される火山噴火による降灰を起因とした交通障害等への対応についても検討する必要があります。
44	(1)災害対策の充実 イ取組みの方向(ウ)	文言追加	<b>様々な</b> 効率的・効果的な災害対策について検討し、取組みを進めていきます。	効率的・効果的な災害対策について検討し、取組みを進めていきます。
46	(1)管きよの総合的な耐震化の推進 ア課題(イ)	文章修正	耐震化を進めていくためには、 <b>まず、雨水の資産台帳の整備を行い、現状を適切に把握する</b> 必要があります。	耐震化を進めていくためには、雨水の資産台帳の整備を行う必要があります。
49	(1)経営の健全化 これまでの主な取組み カ	文章修正	雨水整備については、「雨水公費、汚水私費」の原則のもと、総務省の繰出基準に基づき、一般会計の <b>負担により行っています。本市では、平成25年度</b> の下水道使用料改定により、 <b>基準に基づかない一般会計負担分</b> を解消しましたが、平成29年度に <b>基準の算定方法が国から明示</b> されたことに伴い、現在では、 <b>基準に基づかない一般会計負担分</b> が生じています。	雨水整備については、「雨水公費、汚水私費」の原則のもと、総務省の繰出基準に基づき、一般会計から適正な負担を求めています。また、平成25年度の下水道使用料改定により、繰出基準外の繰入金を解消しましたが、平成29年度に国から <b>分流式経費の算定方法が明確に示された</b> ことに伴い、現在では、 <b>基準外の繰入金</b> が生じています。
52	(1)経営の健全化 ア課題(ウ)	文章修正	<b>繰出基準に基づかない一般会計負担分を解消するためには、公共下水道事業会計の負担が増加します。</b>	国から <b>分流式経費の算定方法が明確に示された</b> ことに伴い、これまで基準内としてきた一般会計からの繰入金の一部が基準外となり、これを解消するための <b>公共下水道事業会計への負担が増加</b> しています。
52	(1)経営の健全化 イ取組みの方向(イ)	文章修正	水洗化人口などの現状を詳細に分析することにより、的確な将来予測を行い、必要な財源を確保するための適切な下水道使用料のあり方について検討するとともに、 <b>新たな財源確保の可能性を検討</b> し、財政計画を策定します。	水洗化人口などの現状を詳細に分析することにより、的確な将来予測を行い、必要な財源を確保するための適切な下水道使用料のあり方について検討し、財政計画を策定します。
53	(1)経営の健全化 イ取組みの方向(オ)	文章修正	<b>繰出基準に基づかない一般会計負担分については、</b> 解消に努めていきますが、このことが利用者の急激な負担増に繋がらないよう、関連部局との調整を行い、財政計画を策定します。	一般会計からの <b>基準外繰入金については、</b> 解消に努めていきますが、このことが利用者の急激な負担増に繋がらないよう、関連部局との調整を行い、財政計画を策定します。
56	(1)料金納付の利便性向上 ア課題(ア)	文章修正	現在行っている隔月検針に合わせた2ヶ月分合算の上下水道料金請求は、特に生活基盤の弱い利用者にとっては負担感が強くなる <b>ため、費用対効果を検証しながら、スマートメーターの導入なども含めて</b> 請求のあり方を検討する必要があります。	現在行っている隔月検針に合わせた2ヶ月分合算の上下水道料金請求は、特に生活基盤の弱い利用者にとっては負担感が強くなることから、請求のあり方を検討する必要があります。

頁	項目	修正内容	修正後	修正前
57	(2)情報共有の充実 イ取組みの方向(ア)	文章修正	ホームページや広報はだのを通じて、公共下水道事業に関する情報を伝える取組みを継続するとともに、施設見学を充実する <b>機会を増やし、新たなPR手法を検討する</b> などにより、公共下水道事業の現状や役割を理解いただくよう努めます。	ホームページや広報はだのを通じて、公共下水道事業に関する情報を伝える取組みを継続するとともに、施設見学を充実するなどにより、公共下水道事業の現状や役割を理解いただくよう努めます。
59	(1)組織体制の強化と委託化の推進 イ取組みの方向(イ)	文言追加	再任用や会計年度任用職員制度を活用し、熟練職員や退職者が培ってきた経験や技術を <b>踏まえたマニュアルを作ることなどにより</b> 経験の浅い職員に伝え、技術の継承を図ります。	再任用や会計年度任用職員制度を活用し、熟練職員や退職者が培ってきた経験や技術を経験の浅い職員に伝え、技術の継承を図ります。
61	(2)経費の削減 イ取組みの方向(イ)	文章修正	管きよや施設については、予防保全型の維持管理を行い、可能な限りの長寿命化を図るとともに、 <b>広域化・共同化や公民連携手法、新技術の導入等を検討し</b> 、経費削減に努めていきます。	管きよや施設については、予防保全型の維持管理を行い、可能な限りの長寿命化を図ることで、経費削減に努めていきます。

※頁番号については、修正後の冊子による。